常磐毎日新聞

六月二十八日　夕刊

定價　一部金貳錢　一ヶ月金壹圓拾錢　郵送料共壹圓

常磐毎日新聞社

日刊

發行所　常磐毎日新聞社

印刷所　常磐毎日印刷株式會社

金製品の調査 愈よ開始さる

各家庭に申告用紙を配布 七月五日までに取り纒む

平市では既報の如く七月一日行はれる金製品の國勢調査に關し目下各係員が申告用紙を一般家庭に配つてゐるが左の要領で記入して置けば調査委員が七月五日までに取り集めに來ることになつてゐる

△申告義務者は金の所有者ですが一世帶にまとめて記入すること

△法人の組合その他の團體で二つ以上の事務所をもつてゐるものは事務所毎に管理者が纒めて記入すること

△時計商や貴金屬商、小間物商、質屋のやうに商品としての金と自分の分としての金とを持つてゐるものは區別して別用紙に記入すること

△若し七月一日現在申告するやうな物のない時は單に住所、職業、氏名を記入して置くこと

△記載すべきものは、金製品、古金貨幣、外國金貨、金地金

金ペン、萬年筆、シャープペンシル、バッヂ、イニシアル、ノヅル（紡糸口）醫療針、避雷針、金歯は記載しなくてもよろしい

△金製品の記載で結婚指輪や簪、印鑑指輪のやうに大分部が金のものは大部分が金といふ欄がありますから、そこへ箇數を記載すること

石入金指環等金鑒に他のものを加工して大部分が金でないものはその他といふ欄に箇數を記載すること

△裝身具、身廻品、喫煙用具、飲食用具、家具什器類に屬する金製品で品名欄に品目のないものはその種類により適當と思ふ所に記載すること

△羽織カンのやうに一對のものは二箇と記載すること

△御下賜品や國賓又は重要美術指定品はその品名と箇數を適要欄に記載すること

△古金貨幣は大判、二分金、一分金、二朱金、一朱金に大別し、そのどれに當るか不明なるものは空白の所に枚數を書込むこと

△外國金貨はその國別及び額面金額の判つてゐるものはそれを明記すること

若し不明な時は國別額面金額不明と記入し枚數だけを書込むこと

△金地金は純金量が判明してゐるものはその箇數及び純金量を記入し不明のものは箇數と金量を記載すること

この場合純金量及び金量は瓦單位とし瓦以下は切捨てること

なほ金貨幣は年號と額面と枚數を記載すること

なほ白色のホワイトゴールド（廿二金から九金程度が多い）又は綠色のグリーンゴールド（十八金程度が多い）も金製品であるから注意して記載洩れのないやう、萬一申告をしなかつたり、虚僞の申告をしたりすると罰金に處せられることがある

尙平市の金製品調査委員は左の如くである

△長橋町根本清次、△小野誠三郎△紺屋町阿部章、岩立淺藏△研町白土作三△古鍛冶町鈴木允△田町石坂一雄、松本充弘△一町目園部國安△二町目中野勇雄△三町目馬目勝次郎△四町目關内榮助△五町目大竹芳之助△三倉佐藤平吉△新川町國井一美△材木町金成泉一郎、石山一治△鍛冶町草野央△南町山崎元三郎、坂本爲一△大町清水英△十五町目岡田健吉△久保町古田部春吉△北目町田中芳胡靡澤泰下貞雄△北目久野金治、馬場武太郎△鍛田町高田清二、草野昇二郎△立町郡司吉男、渡邊佐七△南白銀五十嵐茂、廣川榮△才槌小路志賀子之松、小泉長佐△大工町渡邊儀四郎△蒋城跡加藤正保、松田賢雄△八幡小路鈴木良平△月見町根本一馬△堤ノ内大塚幸太郎△上平窪鈴木貞夫△中平窪吉野富衛利一△下平窪上妻幸△幕ノ内外四大字吉田義久

中元の贈答廢止

平市役所先頭に起つ

平市役所では生活刷新運動の一助として中元贈答品の廢止を奬勵することになり今二十八日各官公署並に銀行、會社、諸工場に對し「戰時中は一齊に中元の贈答をやめませう」と通牒を發した

縣下商業學校の理科協議會開催

會場は新裝の平商業

既報「縣下商業學校理科協議會は理化學實驗教室の新設備が完成した平商業學校に來月十日午前十時半から開催する事になり當日は永岡教諭の授業を參觀して協議に移り終了後は古河炭礦の狀況を視察すると、尙當日平商提出の協議題及談話題左記の如くである

（協議題）時局に鑑み理科教授上特に留意すべき點如何（談話題）博物教授に於ける作業施設につき承りたし、生徒實驗の準備に整理上の取扱ひにつき承りたし化學科と商品科との連絡狀況承りたし、科學的創造發明の能力養成に關する指導狀況承りたし

白鼠を働く

平市紺屋町丸玉合名會社で働いてゐたことのある水野象夫（二三）は昨年末頃から五月末まで双葉郡浪江町字新町四彌助氏方に被雇中同郡大堀村金澤雜貨店から白米二俵の注文を受けながら店には一俵だと話し二俵を持出し二十六圓五十錢を横領費消した外十六件に上る白鼠を働いたこと發覺目下浪江署で取調べを受けてゐる

用達に出た夫の行方

市内に潜伏

上小川村大字上小川荒井トシさん（三三）は今二十八日同人の夫荒井信作さんの捜索方を願ひ出た

信作さんは去る十九日双葉郡川内村に用達に行くと金五十圓を懐に家出したまゝ行方不明となつたもので其後郡山局の消印で「滿洲に行く」といふ電報を寄せたが實際は郡山市内の工場に働いてゐるらしく養父母に子供二人をかゝへ生活苦から願ひ出たものである

天氣豫報

今晩も明日も北東の風曇小雨模様

戰傷勇士

職業を指導

戰傷勇士に對する縣の職業道場第三回終業式は今二十八日午前十時から福島農蠶學校內道場で擧行されたが卒業生中地方關係者は小名濱町出身淡半七一等兵で二ケ月間みつちり勉强した腕で實家へ戻り更正のスタートを切ることになつた

勿來驛改築

既報第一期工事を完了した勿來驛では更に工費三萬六千圓を投じ第二期工事として四十五坪の本屋と驛長室、出札其他を改築することになりこの程地鎮祭を執行した

拘引狀同志がブタ箱の奇遇

惡の道の同行二人 偶然平署で顔合せ

富岡町溜地の殺人犯人堀川鐵治（二七）は二十七日朝平支部からの拘引狀で富岡署から平署へ護送され本田司法主任が

司法室で護送準備を急いでゐたところこれまた拘引狀を發せられ護送されることになつた窃盜犯人荒井進（二〇）とばつたり顔を合せ『やあ！暫く』と挨拶を交したので本田司法主任もアツ氣にとられてしまつたが

事情を訊くと堀川は犯行後東京へ逃げたが進退に窮し青森縣下の土工部屋行に應募したところ偶然にも窃盜行脚でこれも進退に窮した荒井が應募し共に去る六日青森縣下に行き土木工事をやつたが仕事が辛くて浪江町まで無賃

乘車し同町で窃盜を働き逃走平市内を徘徊中平署に捕はれ、一方堀川も福島署につかまりこの朝また〳〵同じ刑務支所に收容されるに至つたもので兩人共この奇妙な因縁のめぐりあはせに苦笑しつゝ曳かれて行つた

防水布を盗んで雨合羽に

泉神龍尻廣島市藥研堀町生れ錦村吳羽人絹工場職工金子榮（四二）は昨年八月中同工場内からゴム引防水布十八尺價格十一圓分を窃取雨合羽に仕立て着用してゐたのを發覺、今二十八日植田署に檢擧されたが同人は一昨年十一月上旬窃盜で起訴猶豫中の者と判明、目下餘罪取調べ中である

前期より五割增

吳羽人絹ボーナス 日の丸貯金も好績

錦村吳羽紡績人絹工場では職工二千五十名に對し七月十二日上半期ボーナスを一齊に支給することになつた、同工場は昭和から看板塗替へて最初のことであり目下鋭意待遇改善を斷行しつゝある折柄だけに職工連の期待は大きいが大体前期より五割增しとみられてゐる、尙工場では從業員全員に〝日の丸貯金〟を勵行させてゐるが六月分の總額は一萬二千圓に達し一人最高四十五圓から最低二圓五十錢となつてゐる

築港請願形勢好轉

いま一押し

小名濱第二期築港工事は是が非でも內務省來年度豫算に計上して貰はねばと縣土木部では先に結成した期成同盟會と緊密な連絡をとつて猛運動を續けてゐるが最近本省の形勢は豫想以上に好轉、重要土木工事として考慮され地元の熱意如何によつては十分實現の可能性があるので力を得た縣では今一押しに關係者と協力大藏省方面に主力を注ぎ更に馬力をかけることゝなつた

鋪裝奉仕

錦村民出動

植田町と錦村をつなぐ鮫川橋に植田町通りの鋪裝工事は既に完成七月二十二日竣工式を擧行することになつたが錦村側二百米の道路鋪裝が完成しないので錦村では人夫拂底の折柄〝村民の勞力奉仕で鋪裝を完成させよ〟と目下警防團員並に大倉部落民三百名が出動してゐる

町村長が貯蓄協議

平公會堂で

國民百億貯蓄實現のため石城郡町村長會は七月九日平市公會堂に總會を開くと

大陸の母

申込トップ

中堅女子青年を鍛へて送しい大陸い母を作らうとする矢吹修練農場女子拓殖講習會の應募者募集は二十七日から開始されたが神谷村の佐川俊子さん（二〇）はトップを切つて申込んだと

賃金を寄附

玉川村島上坪農事實行組合長草野留吉氏以下組合員八名はこの程出征兵家族の田植奉仕をした外隣村の田植奉仕をして得た賃金の中から金十圓を國防獻金として同村役場に寄託した

安全日行事

工場協會四倉支部では今二十八日午後一時から四倉署で總會を開き七月一日から實施される安全週間の行事に就いて協議した

勞働調査員

四倉署管內の勞働調査委員はこの程左の如く任命された

△草野村―鈴木製材工場△大浦村―高崎清藤△遠見茂平△四倉町―磐城セメント工場

今度はメヂの山

小名濱魚市場便り

小名濱魚市場水揚げ量は近來希れに見る處である上に昨今大漁も相當の水揚げを示し今朝はメヂ二百貫乃至二五百貫目物一万五千內外の水上げを見經の山に次ぐメヂの山で市場の活況は一入度賑を極めた、水揚相場は六七文の處で壹萬數千圓の水揚高を示した

蒙疆から通信（二）

大蒙公司技師　柳內準平君

羊やロバや馬や牛やラクダ等は大群なして青草を喰つて居ります、我々の乘つた汽車に驚いて彼等の群はそろ〳〵逃げて行くのですが丁度蟻の行列の樣です、やつぱり馬やロバは眞先きに逃げて行きます、初めて見た時は面白く珍らしかつたものです、部落に通ずる田園路の兩側には葛蒲が今を盛りと咲いて居ります、實に美麗ですあやめの花園です、葛蒲は元日本に無かつたものでそうです、兎が毬の樣にソコ此處から飛出すのが見います、可愛事には或る處まで逃げて行くと後を振りむいてキョトンと此方を見て居ます、此前出張した時は包頭から大同まで行く間に二十羽以上見付けました、途中沼があります、湖水もあります、オジドリやら何やら美しい鳥が浮いて居ります白鷺も居ります、鶴の樣な大きな白鳥も居ります

夕日が沈むと薄闇が迫つて來ます、內地では雀色と申しますが此れが割合永く續きます、其內に三日月が光り出しました、汽車が小さな停車場に着きました

（續く）

平市人事

△出生

△錄田町四〇東京市品川區東大崎加藤主計氏二男恒眞君

△婚姻

△五町目一七小松榮氏（三〇）茨城縣新治郡高岡町一一久米文子さん（二七）

明廿九日晝夜公開

平館

日活多摩川俳優

名　晩　黑田記代

スター　小町とし子

『山の誓ひ』に來平せし

ピアニスト　林好太郎　芝みどり

ラヂオ

今晩の部

▼後六、〇〇子供の時間　科學劇「人造人間F氏」海野十三作宵山銀二外

▼後六、二五講演「科學界のトピック」小門太一郎

▼後七、三〇國民歌謠

▼後七、四〇講演　金光庸夫

▼後八、〇〇浪花節「紀の國屋文左衛門」藤々木米若

▼後八、四〇ラヂオ・ドラマ「子供の四季」坪田譲治原作、井上正夫外

明日の部

▼前九、四五（幼兒の時間）お話「鶴に出かけた子供達」江上フジ

▼前一〇、一〇母の時間「父と兒童の榮養」

▼後〇、〇五新日本音樂「羽衣」吉田晴風作曲、尺八吉田晴風外

▼後三、〇〇婦人の時間「六月の婦人界」

▼後五、三〇（中等學生の時間）天體アルバム「火星は近づく」

▼後六、〇〇（子供の時間）科學劇「人造人間F氏」宵山銀二外

▼後七、三〇座談會「大陸經營を語る」司會男爵大藏公望外

▼後八、三〇舞踊劇

▼後九、二〇歌謠曲一、市丸「宵の大川」外二、德山璉「船乘りの唄」外

エタニツトパイプ

鐵管　代用

	壓縮封度	內經	一本ノ長サ	一本ノ價額	ギボルト代 鐵手
D級	250	50㎜	3m	3.76	2.25
〃	250	75	3	5.58	2.75
B級	100	100	3	5.80	4.05
〃	100	150	4	13.20	6.07

平市仲町通り

山田文一商店

電話262番

戰國謀傳

第十二回　歐冶秘法（四）

大井沢一郎　山科龍作画

行者はヂタン黑服をみつめたまゝ無言である、黑服は、この態は成人の現世かしと問かされて、やゝ顯然顯然になつて

「其成就せねとなければ應ゑこの山中に殺ます、武士たるものが面を下げて！」

「いや、如何に大師の再來たる行者でも時はねことは仕方がない」

その時黑服は、やゝと大聲に笑はれたことを思出した。

「アッそうか、すつかり失念いたしてをつた、なる程此處だな！」と氣がついた、そして可笑ない風で懷中に手を入れて來た首級一封を並ぶ小刀五枚を傾けたのを、恭々しく、眼すべのせて差出した。

「然程迄の、これは少でござるか、何卒本當の證拠の品にお納め下さるやう、迫つて又都合見計らひ當地へすでさうら」

「修驗行者はじろりとそれへ目をくれて

「それは御苦勞な、

「淨して來ても所がましいことでござるが何とか行者のおりをお願ひ申げて」

「いや〳〵、それは何ならずともよう淨り居る、それ程迄に成はれるなれば何とか聽して遣ぜう」

「では修驗へ、でやまるかと」

「おゝ、殿首級を修驗の所驗、いかにも行者の驗所に依つて無驗に繼續成就いたさせ御にしませう ぞ」

かういつて、ぎよろりと眼を睨ませた時に驗聽いやうな光がその眼からほとばしつた。

黑服は思はずゾッとして身をすくめた。

一行者は何時か黑服をすうやうに驗

「然程迄の、これは少でござるか、何卒本當の證拠の品にお納め下さるやう、迫つて又都合見計らひ當地へすでさうら」

修驗行者はじろりとそれへ目をくれて

「それは御苦勞な、

「淨して來ても所がましいことでござるが何とか行者のおりをお願ひ申げて」

「いや〳〵、それは何ならずともよう淨り居る、それ程迄に成はれるなれば何とか聽して遣ぜう」

「では修驗へ、でやまるかと」

「おゝ、殿首級を修驗の所驗、いかにも行者の驗所に依つて無驗に繼續成就いたさせ御にしませう ぞ」

かういつて、ぎよろりと眼を睨ませた時に驗聽いやうな光がその眼からほとばしつた。

黑服は思はずゾッとして身をすくめた。

一行者は何時か黑服をすうやうに驗

事變下の生活再檢討

何を切詰めるか

どこに無駄があるか……☆かうして高物價克服

午前十時頃のことである。浜所の奥さんが赤ん坊をつれて、警察の方へ出かけようとされた時、隣の人は大変驚きました。

不時の訪問

の樣子。警部に夢中になつてゐる私を訪した。

二時……隣まで買出しに出た帰りに一寸お宅の前を通りましたからちよいふ挨拶であつた。一服に用は御座いませんの。唯一寸お寄りしただけですから此處で失礼致します」と玄関口へ坐られてみればどんなに忙しくてもお愛想に「まあお上りになりませんか」と言はざるを得ないのが人情である。

……こ……れに驚して「では」と上り込まれないまでも、玄関先で小一時間程話た時間を殺してしまつた。世をあげて物資節約の際の高い時、之に目に見えぬ時間の浪費であることだらう。よく外出帰りの人が、日々は興奮の訪客が多い。と言つて驚いてゐるが、時間的に

シャツクリの手當

シャツクリが出ていつまでも止らぬ時、隣の人は大変驚きますから早くとめねばいけません、それには色々の薬がありますがアンモニヤ香精一瓦を酒盃の水に入れて飲みますと大抵の場合はとまります。

凡般的に感冒の人は、急性でない限り、ふと見ついて入を訪ねるといふ事は絶対にしないさうだ。

……だ……から不時の訪問者によつてプランを破される心配もなく、主婦はその日の仕事を計畫通りに片づけてゆくといふ。私は之を聞いて本当に嬉しく思つた。この貴大な時間に近つてゐる私達は、もつと一時の浪費に心すべきだと痛感した

物は二割九分、衣料品一割一分、雑貨、食物類は七分の順で値段が上つてゐます。魚介類の六割騰貴は最早だけ見ると高騰ですが、肉とかマクロが安くて上つてゐるのであつて、イワシのやうな小魚に騰貴はしません

住宅費は家賃、水道料共に据置してゐます。上つたといふのは部屋数を多くしてゐる人の場合を指してゐるのであつて、別棟とへしなければ家賃に上つてゐないのです、その他の項目を文化費に一括するとこれは僅かに九分しか上昇してゐません

ゴムは大切にしなければならぬ時です。そこで底の破れたゴム長も上部を切り利用しませう。それにはスタ切れた袴の底れの頭にはるとか、靴底かを使つた圓を高くするとか利用の方法は多いと思ひます。きつ底靴の頭にはるにはよく土を洗ひ洗して干し上げたものを紙やすりで、付着しやすくするかめできるだけ紙・傷をつくつておきます。そして土つかずのところを除いた他の底辺なりにゴムを切り、ゴムの付着面にやはり紙やすりでこすつて傷を作り、その傷ついた部面を自轉車屋か鞄屋店で求めたドロ〳〵のラバーセメント（一瓶廿五錢位）でヒタリつけ合せます。が、このまま放つておけばセメントの中の溶剤が揮発し、完全に附着するには半日近くもかゝりますので、あとでゴムの上からアイロンをかけて直ぐに密かします。つまり破れた個所の穴部と同じ操作をしますが、たゞ四のつみ上げには一枚がまつたく破いて付いてから他の一枚をつけ、最後に適宜に釘づけにされればさらに完全です。

破れたゴム長

……胴を利用しませう

乾物は二割九分、魚介類一割一分、豆腐、練物類は七分の順で騰貴してゐます。魚介類の六割騰貴は最早だけ見ると高騰ですが、鰯とかマクロが安くて上つてゐるのであつて、イワシのやうな小魚に騰貴はしません

住宅費は家賃、水道料共に据置してゐます。上つたといふのは部屋数を多くしてゐる人の場合を指してゐるのであつて、別棟とへしなければ家賃に上つてゐないのです、その他の項目を文化費に一括するとこれは僅かに九分しか上昇してゐません

ベンジンソープの作り方は一番簡単なのは泥鰌ねの再製で。泥鰌ねはそのまゝ使ますと後には容易に取れなくなりますから簡単早速その部分だけ水の中で煮ておく様に心掛け度いものです

……古く……なつた泥鰌ねの取り方には、二種の方法があります。一つは強い布海苔液で揉み出して汚穢を落し、水洗きする方法と、他の一つはベンジンソープ（鰌鍋石鹸）を塗付して揉み、更に鰌鍋油で煮る方法とあります

汚穢液の正しい揉み方は、順手の掘指の関節の下の少し凹んだ個所に汚穢の附着した布を挟み廻す様に揉むのです。

厄介な泥鰌ね

古くなつた時の取り方

オレイン一〇グラムを貴び求め、之に三——四グラムの醋酸アンモニア水を混ぜ、指先で揉み水中廻するのです。ベンジンソープに二、三滴の醋酸アミールを滴ずしますと、その効力は更に増します。

鍋や硝子は水に浸したり、水が付着いたしますと、その部分だけが必ず縮みますから、使いたいだけ湯伸しをする必要があります。

蠅帳

……の手入れ……

◇羽蟻はたゞ丁寧に灰を沙つてから、金鋏に灰を付けると、蟻は手間なく捕れます。

◇次の中の蟻に隙々まで蟻いお湯か、鰌ソープを銀箔大位入れたお湯をふき、蠅の骨を同時に一緒づつふき十分乾燥させます

◇なに絶対の金具付きの物は、布巾に石鹸液をつけてこすり、後を清水に絞つた布でふきますと、きれいになります（鰌鍋ハツヨ）

薬なし食塩カバ……

古バラソルの骨を使ふ

布が破りきつた古バラソル（男子用のものでもできる）の骨を、利用して食塩カバーを作つてみました。まづ布をはぎ、ついで骨の先を金槌に合せて外へはみ出ぬやうに鋲留し、さらにこれを挟せたときに邪魔にならぬ様に持ち柄を切り取ります。柄ときの土塗きも鋲よく切りこれに張る布にできるだけ次前の破しさうなのを選んで、さきの古布に合せて縫ひ、骨にしつかり結びつけたのち、樞に隙間をつくらぬため鋲留にヒダをつけます

愈よスフの海水着

水切れが悪く洗濯に弱くても

事變下の夏を泳ぎ切りませう

光熱費の二割五分騰貴、これを鰌鍋に見ますと

薪、割六分、水道料四割四分、石炭二割二分、ガスは事變前と同

衣裝費が一番騰貴

そのためには事變前と比べてどれ位騰貴してゐるかを各項目別に見ることが大切です。そして嘗しく上つたものが必要欲べからざるものであれば、これに代るが必要なもので間に合せる工夫が必要であるし、なくて間に合はせられるものは見合せるやうにすることが肝要です。先づ

衣裝費は一割上つてゐる項目で、数的に見て三割五分の騰貴です、これを細かに分けて見ますと

ネル一割、絹仙四割三分、富士絹三割六分、モスリン二割三分、鹿絹四割五分、打綿五割一分、セル三割五分、下駄十三割六分、足袋一割二分、靴五割三分、靴下五割三分、朝十二割

となつてゐます。鹿絹が大割上つてゐるのに反し鹿皮はほとんど事變前と変つてゐないことは注目に値します。次は

燃料費は二割五分騰貴、石炭二割二分、ガスは事變前と同じ、電燈料は知つて四分下つてゐます

飲食費の中一割騰貴いのは主食の米ですが、これは四分の値上り、つまり一圓につき四錢上つただけです。副食物は二割騰貴してゐます。しかし副食物の五分の二を占める調味料は米同様四分の値上りでしかない。魚介類は大割、牛乳は二割八分、明、牛乳並に

スフの海水着は、ほく面に鹿と瓜先を同色の糸を縫て置くと丈夫です。

スフ足袋洗ひ方

スフ足袋は強いと云ふ長さを鹿きますが、新しい内に裏返して縫目を水洗ずがよつて置きますと綻から破れて来る気遣ひはありません。洗濯の際には洗して洗ひしない前に必ず上から強しつけて洗ひ、足袋へは一分程で作つた足袋型を入れて洗から洗濯用の鹿で洗ひをごく出しますと布地が傷まずよく落ちて毛羽立ちません

足袋型にお菓子折の古いのに絵鹿で鹿をとり切り抜けば容易に出来ます。

又洗濯袋に表をつかみ洗ひにすると色がハゲません。

スフ入り鹿ハは、はく面に鹿と瓜先を同色の糸を縫て置くと丈夫です。

スフ海水着は水切れが悪く洗濯に弱くて鹿ハ・ハが鹿えなかす今年の海水着には鹿つたものです。スフの鹿ハはご承知のとおり水が入ると鹿ハ・ハがはれやすい鹿ハをもつてをりますから、オール・スフなどの海水着は強いでもて鹿が鹿ではありません。唯戦はスフも三割鹿皮でしたからもう五割以上になつてはいけません。従つて相

手が鹿水着である以上、鹿道者間としては鹿率のマバラ織りのスフ生地でなく、鹿皮の細かい生地によつて考えて水にもちこたへさせるといふ苦心の末で

スフ海水着をつくつてをりますから、今年の海水着はスフの強いものほど厚ぼつたくなり、更に光沢をおびて鹿が

鹿しなくても今年の海水着は通つて水切れ鹿く、さつぱりしない上に鹿鹿などのときるスフ洗濯法を知らずに洗濯するとすぐ参つてしまふといふ苦悩もかなります。

オール・スフ鹿鹿が鹿ハ・ハみの今とつては鹿鹿を鹿鹿してゐますからみす〳〵鹿れぬオール・スフ海水着を出製、鹿るとは考へられませんかいかとの鹿長のスフ物かあるかどうか判りません。

でも鹿して鹿くかになると頭・鹿のタキ、鹿鹿六割から八割までのスフ入りは避けられぬでせう。鹿は鹿鹿なものは鹿をひそめ、鹿目なものになつて来ましたから、鹿行鹿品としての海水着の鹿は鹿よりさまつてしまふワケです。

昨年の純毛品

も出ますが鹿鹿なら見切られる鹿品も新鹿鹿と同鹿です。鹿鹿は鹿年の二割高ですが困るのに鹿鹿鹿止になつた毛織物や鹿毛の鹿りがあるといつても毛織物鹿鹿化してボロボロになつたくらいは使へませんし、鹿鹿ゴムでは鹿ませんから今年にシーズン一杯鹿鹿鹿